

会 議 名	平成25年度第4回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成26年3月20日（木）午後2時から4時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室A
委 員	（出席者）崎田座長、石川氏（森委員、北村委員代理）、木原委員、榊中委員、小林委員、岩政委員、小沼氏（内藤委員代理）、佐々木委員、亀田委員 （欠席者）桜林委員、藤野委員、島村委員、荒川委員、長谷川委員
事 務 局	日山、高島、北川、杉山
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 「捨てる・配るだけじゃない！上手な備蓄食糧の活用セミナー」開催報告 2. 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催概要 3. 意見交換① 平成25年度の振り返り 4. 意見交換② 平成26年度3R推進事業の進め方について 5. エコライフ・フェアMINATO2014開催概要
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 「捨てる・配るだけじゃない！上手な備蓄食糧の活用セミナー」開催報告 2. 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催概要 3. 平成26年度3R推進事業の進め方について（案） [参考資料] 1. 「捨てる・配るだけじゃない！上手な備蓄食料の活用セミナー」チラシ 2. 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」チラシ 3. 港区3R推進行動会議：平成25年度評価及び平成26年度事業案（詳細版） 4. 港区3R推進行動会議：これまでの動き（年代別・テーマ別）

主な発言・報告内容

1 港区挨拶

所長の長谷川がご挨拶させていただき予定であったが、インフルエンザで欠席のためごみ減量推進係長の日山より挨拶させていただく。

本日から3Rフォーラムが始まる。また、本日は、今年度最後の港区3R推進行動会議となる。委員の皆さまには多大なご協力をいただき一年間の締めくくりとなる本日を迎えることができた。また本日は、次年度の計画について話し合う予定となっており、今後とも本事業にご協力をお願いしたい。

1. 「捨てる・配るだけじゃない！上手な備蓄食糧の活用セミナー」開催報告

●事務局からの報告

2月6日（木）に「捨てる・配るだけじゃない！上手な備蓄食糧の活用セミナー」を港区内の事業者を対象に高輪区民センターにて開催した。日本災害食学会 ^{もり}守様、株式会社パン・アキモト ^{たや}田谷様、キューピー株式会社 前田様に講師としてお越しいただいた。参加人数は43社48名であった。

●主な発言

- ・ 各スーパーで積極的に備蓄食品を扱っているが、非常時に役に立つために、改めて顧客のニーズを考える必要があると感じた。
- ・ 備蓄への社会の関心は高まっているが、備蓄したものをどの様に活用するのが大切。
- ・ 「非常食」は常温保管可能で賞味期間が長く、「災害食」は更に温かさや美味しさ、栄養のバランスも考えた保存食であるという違いを認識していなかった。
- ・ 今日は備蓄食糧を実際試食できるようにすると良かった。

2 楽しく暮らしに役立つイベントいっぱい！遊ぶ・見る・考える「みんなと3Rフォーラム」開催概要

●事務局からの報告

3月20日から23日まで、平成25年度港区3R推進行動会議の活動の総括としてエコプラザにて「みんなと3Rフォーラム」を開催する。パネル展示会の他、「3Rレンジャーショー&クイズ対決」、「3Rワークショップ」、「クイズラリー・抽選会」、「小さな家具のリサイクル展」、「段ボールコンポスト講座」、「3R記念講演」を予定している。

●主な発言

- ・ 今年度も大学生のボランティアにご協力してもらったが、次年度に向けて3Rサポーターに関わってもらえるように考えた方がよい。
- ・ チラシのタイトルは具体的な内容がイメージできるように対象やテーマを明確にした

方が良い。

- ・ ボランティアでも港区の現状がわかってないと区民への啓発は難しいのではないか。
- ・ チラシがあればタイミングによっては、区が定期的に配信しているメーリングで登録者(市民)に流すことも可能である。

3 意見交換① 平成25年度の振り返り

●事務局からの報告

平成25年度の取組としては行動計画の3つの基本方針に沿った6つの行動プランに関し、活動を進めてきた。成果としては、段ボールコンポスト講習会のノウハウの継承、学生ボランティアとの継続的な連携、イベント参加者数の増加、新たな情報発信の機会、3Rサポーター制度の整備が挙げている。改善が必要な点としては、継続的な3R活動支援、中小企業の事情に則した情報発信、3Rサポーター制度の充実、地域の担い手の育成、区民と事業者の連携である。

●主な発言

- ・ 段ボールコンポストで作ったたい肥を活用してごみを減らすことができる。段ボールコンポストの取組は家庭からごみを減らすための循環が生まれるので良いと感じている。
- ・ 3R推進の目標と施策に、定量的な評価を加えると良いかもしれない。
- ・ 3Rサポーター制度の充実には、自ら行動できる人・場を作ることが大切である。
- ・ モデル事業(段ボールコンポスト等)を行うことで、地域の中に成果を落とし込む工夫が必要である。

4 意見交換② 平成26年度3R推進事業の進め方について

●事務局からの報告

継続事業が多い中で、今年度の課題を踏まえて事業の変更や新規事業を実施していきたい。来年度の方向性に関して意見をいただきたい。

●主な発言

- ・ 情報発信だけではなく、地域のごみの問題を解決するために一緒に取組んでもらうことが大切。
- ・ 大学生との連携だけでなく、在勤者をもっと巻き込めないか。
- ・ モデル事業として、環境に関心が高い人が多く住むマンションなどで段ボールコンポストに取り組みを促したりするなど、具体的なことができるとよい。講座の中で研究会を実際にやってみるのもよいかもしれない。
- ・ 在勤者が「地域」を意識して取り組むのは難しいので工夫が必要。

- ・ 自分たちが取り組むことでメリットが得られ、それを地域に発信することによって評価が上がるような仕組みがあればよい。
- ・ 今まで個々に募集をして人が集まりにくかった。ターゲットを絞り、サークル・グループ単位で落としていけばいいのではないか。関心のある方がつながっていない印象がある。それがつながると大きな活動になると思う。
- ・ 3Rに関心を持っている団体の全体像が見えてこない。名刺交換会等を一度やってもいいのではないか。

5 その他

●エコライフ・フェアMINATO2014開催概要

- ・ 5月24日(土)に開催される。来年度もご協力をお願いしたい。
- ・ 意見交換については来年度1回目の3R推進行動会議をその前に開催する予定であり、その場で行う。

●次回会議に関して

- ・ 第1回3R推進行動会議：5月14日(水) 10:00～